

ワークショップと研究集会開催のお知らせ

認知言語学フォーラム 2015

午前の前半は、学部上級・大学院修士レベルでの英語学研究におけるコーパスの利用の仕方を学ぶワークショップを開催いたします。卒業論文・修士論文作成の参考になるので学部生・大学院生はぜひご参加ください。

午後の後半と午後は、3名の講師による講演とフォーラム参加者による研究発表が行われ、認知言語学の最新情報と豊かな可能性、現在の論争点等についての意見交換を行います。

日時：2015年7月4日（土）10:00～18:00

場所：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W棟）3階309教室

札幌市北区北10条西7丁目

ワークショップ

<午前の部：10:00～11:10>

前半は、講師にコーパスの使い方を講義して頂き学生は自分のノートパソコンを持参してチュートリアル的に学習します（45分程度）。後半は、講師の最新の研究の一端をお話しして頂きます（25分程度）。

講師 長谷部陽一郎 先生（同志社大学グローバル・コミュニケーション学部）

『BYU コーパスと TED コーパスを用いた言語データの採取と活用』

招待講演と個人研究発表

<午前の部：11:20～12:15>

招待講演Ⅰ 大橋浩 先生（九州大学基幹教育院）

『認知言語学と言語変化 ―コーパスを利用して―』

<午後の部：14:00～18:00>

招待講演Ⅱ（14:00～14:55）

森雄一 先生（成蹊大学文学部）

『カテゴリーの伸縮とレトリック』

個人研究発表（15:15～16:40）

15:15～15:40

長谷川明香（成蹊大学アジア太平洋研究センター）

『日英語の「好まれる言い廻し」再考に向けて』

15:45～16:10

對馬康博（札幌大学外国語学部英語学科・地域共創学群人間社会学域）

『セッティング主語構文の拡張構文としての無生物主語構文』

16:15～16:40

眞田敬介（札幌学院大学人文学部）

『認識的 have to の使用依拠の一考察』

招待講演Ⅲ（17:00～17:55）

西村義樹 先生（東京大学文学部）

『文法と意味：認知言語学の視点』